



## キーワード

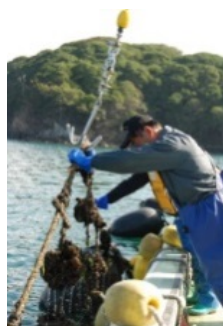
地方創生／官民連携／森林・里山活用／  
水辺の保全・再生／食／ブランド化

## フィールド

東北  
(宮城県) ・ **森里海**

## 実施体制

宮城県漁業協同組合志津川支所戸倉事務所／  
南三陸森林管理協議会(※)  
※南三陸町／(株)佐久／大長林業／慶應義塾大学／  
丸平木材(株)で構成される



## アクションの目的

海と森の保全活動を通じた高品質化及びブランド化。

## アクションの背景

宮城県漁協の戸倉事務所では、養殖の過密化によるカキの成長不良が問題となっていた。持続可能な養殖漁業を認証するASC認証を知り、活動の理念とも合っていたことから取得を目指すようになり、2016年3月、国内で初めてASC認証を取得した。

(株)佐久が、地域で伝統的に生産されてきたスギを、2008年に南三陸杉としてブランド化した。ブランド力の向上に向け、東日本大震災を一つの契機として、FSC認証を目指すようになり、町内に山林を持つ他団体にも働きかけて協議会を結成し、2015年10月、FSC認証を取得（丸平木材(株)を除く4団体で森林面積計1,315ha）した。

また、丸平木材(株)はCoC認証を取得している。

## アクションの内容

### 【海、森の環境保全とブランド化】

カキの養殖いかだの数を以前の1/3まで減らすことで、海への環境負荷を軽減している。

各粒に海の栄養が行き渡るようになったことから、育成期間が短縮され、味もよくなっている。

「環境配慮として、下刈り時に、可能な限り下草・広葉樹を残す」等、森林整備や伐採方法のルールを明文化して資料にまとめている。

ASC認証、FSC認証の基準を遵守している。

ASC認証の取得をアピールしつつも、カキの身入りのよしあしには重々注意を払っている。

## アクションのポイント

◎「森－里－海」のつながりの視点を持ち、生産者同士の間にも交流を生みつつ、地域の活性化につなげている。

◎持続可能な養殖漁業に対する視察等で団体訪問の受け入れを行っている。来訪者に対しては、新鮮な食の提供などを通じ、南三陸町のファンとなってもらうように努めている。

## アクションの効果と今後の展開

○ASC認証とFSC認証の両方が取得されたことを一つの契機に、体験プログラムの提供や販売の促進にあたって、林業者と漁業者との間に交流が生まれている。